

下目黒一丁目地区

下目黒一丁目地区のみなさまへ

下目黒一丁目地区街づくりニュース

第4号 (令和2年4月)

街づくり協議会の活動をご報告します!!

将来市街地像と街づくりの目標・方向性について話し合っています

「下目黒一丁目地区街づくり協議会（以下、「協議会」といいます。）」は、平成31年3月に公募の方8名を含む計17名で設立され、これまで計6回開催しました。街歩きや、地区内外権利者・地区内生活者を対象にしたアンケートを実施して地区の現状・課題などを協議会員で共有しながら、話し合いを進めています。

現在は、これら地区の現状・課題を踏まえた「将来市街地像と街づくりの目標・方向性」について話し合っている段階です。

本ニュースでは、今年度の協議会での話し合いをもとに、たたき台としてまとめた「将来市街地像と街づくりの目標・方向性」などについてお知らせします。

今後、この内容を精査・整理し、来年度は街づくりの目標・方向性を実現するための具体的な方策・ルールについて、話し合っていきます。

令和元年度の活動概要

第2回協議会(4月20日)

- ・協議会の活動目的・目標の確認
- ・下目黒一丁目地区の街づくりの進め方に関する確認
- ・街歩きの実施

●地区内外権利者・地区内生活者を対象にしたアンケートを実施(6月6日~21日)

第3回協議会(8月1日)

- ・アンケート結果の確認
- ・地区の可能性、魅力、課題の確認・共有
- ・今後の検討テーマの確認

第4回協議会(10月3日)

- ・住宅・商業・業務の共存について

第5回協議会(12月5日)

- ・交通と街の個性化・魅力化について

第6回協議会(2月6日)

- ・街づくりの方向性等の確認



【問い合わせ先】

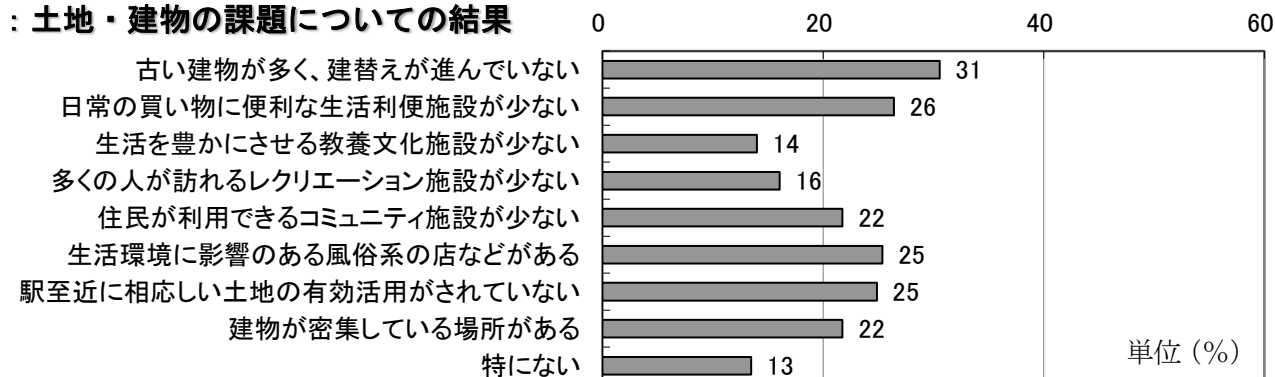
目黒区街づくり推進部地区整備課 (中目黒・目黒駅地区担当)
 電話: 03-5722-9458 ファックス: 03-5722-9239
 メール: nakameguro-kai@city.meguro.tokyo.jp

「下目黒一丁目地区 街づくりアンケート」結果のご報告

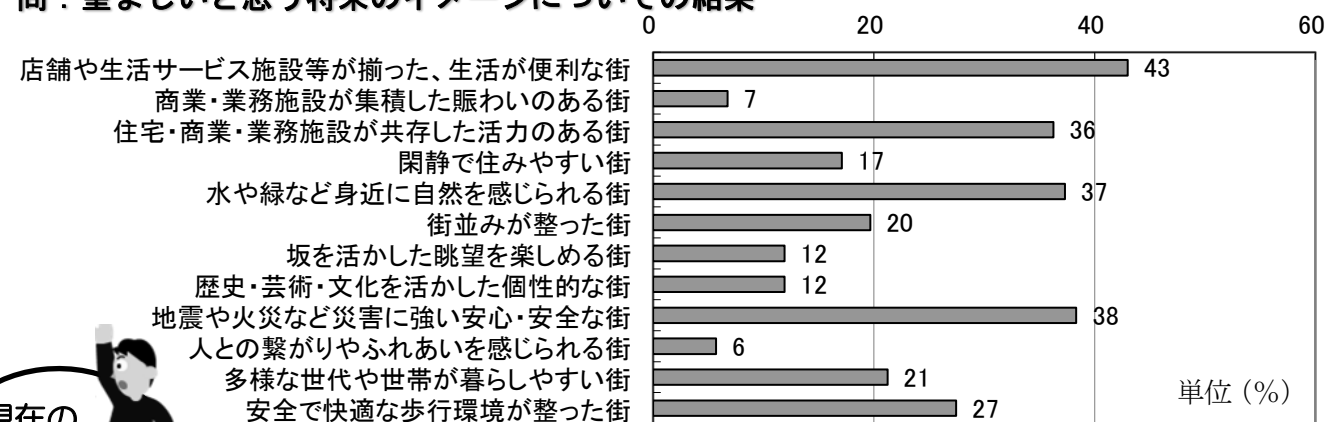
街づくりニュース第3号で、皆様にご協力いただいて実施した「下目黒一丁目地区街づくりアンケート」の結果を取りまとめました。地区内外権利者・地区内生活者を対象に1,459通を配布し、193通の回答が得られました。

協議会では、アンケートの結果を活用しながら話し合いを進めています。目黒区のホームページより「下目黒街づくり」で検索して、ご覧下さい。

問: 土地・建物の課題についての結果



問: 望ましいと思う将来のイメージについての結果

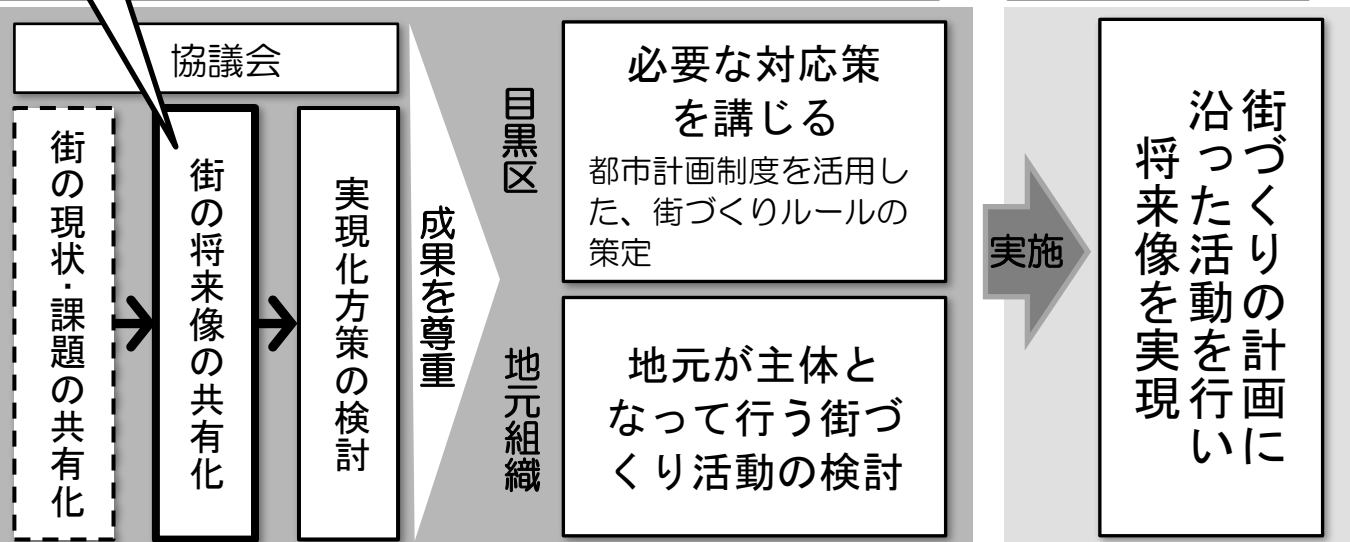


現在の到達点です



平成30年度～令和3年度

令和4年度以降



『下目黒一丁目地区』の将来市街地像と街づくりの目標・方向性（たたき台）

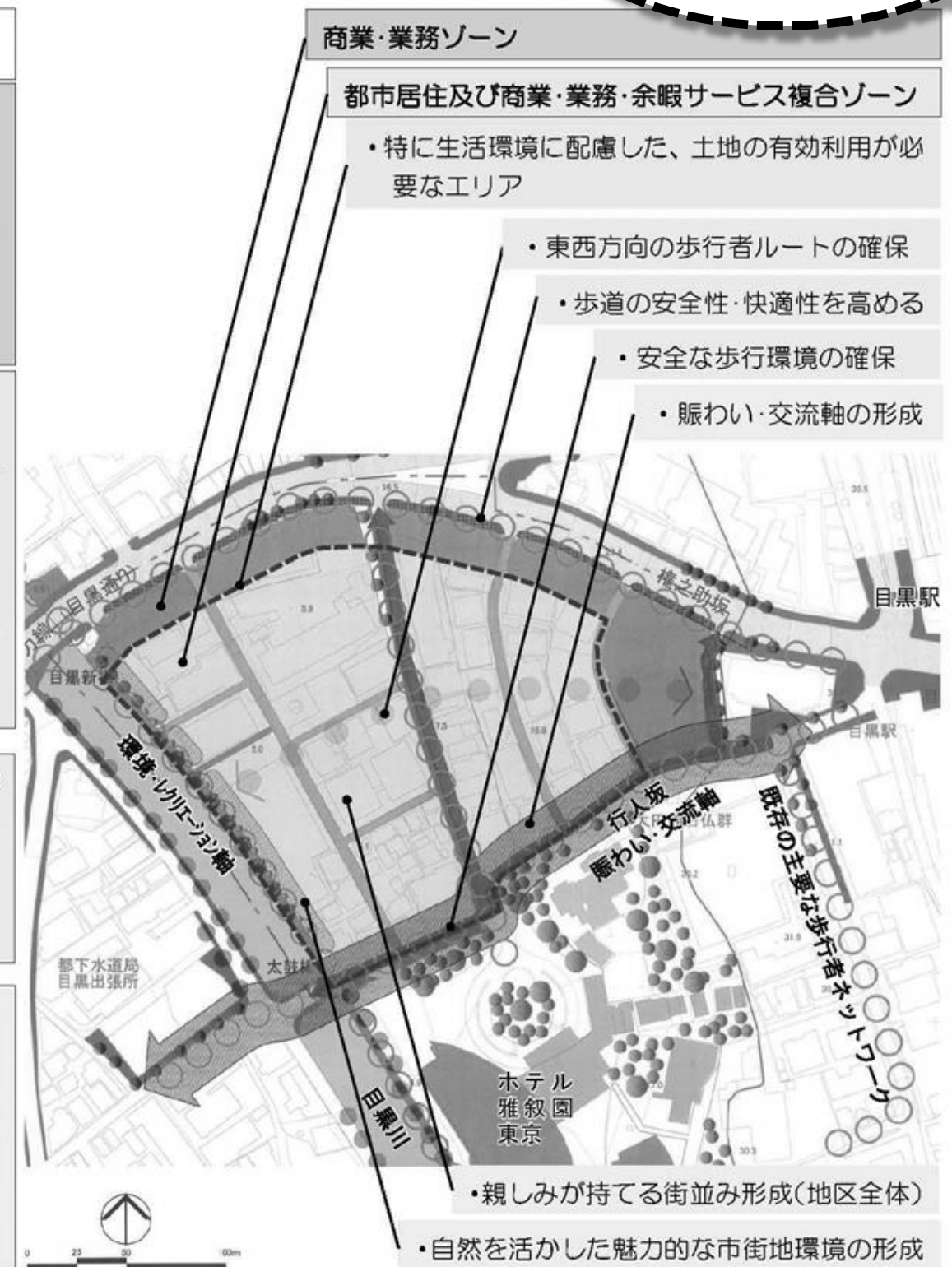
※このたたき台は、今年度の協議会でのテーマ別話し合いをもとに、今後の街づくりの目標、方向性を取りまとめたものです。

今後は、このたたき台をもとに、街づくりの目標や方向性を再整理した上で、実現するための具体的な方策を話し合っていきます。

《将来市街地像》

- ◎便利な都心居住を支える住宅と、毎日47万人の人が利用する目黒駅至近地区に相應しい商業・業務が集積した活力ある市街地
- ◎地域の文化・歴史・自然資源が街の個性として活かされ、それら資源と調和する品格と落ち着きがある市街地
- ◎生活・社会ニーズの変化に柔軟に対応でき、職住接近によりうまれる豊かな時間と、生き生きとした生活が楽しめる市街地

《街づくりの目標》	《街づくりの方向性》	《考えられる取組み例》 《まちづくりルールの考え方》
土地利用 【商業・業務ゾーン】 高度利用可能な環境を活かして、広域的ニーズにも応える快適で、安心して利用できる賑わいある商業・業務機能が集積した市街地を目指す。	○店舗・事務所が連続した賑わいの連続性を確保する ○店先空間にゆとりがあるなど、快適に買い物ができる商店街を形成する ○誰でも安心して利用できる品のある商店街を形成する	・1階部分の店舗化 ・道路沿いにおける歩行者空間の創出 ・風俗・遊興施設等の立地制限
土地利用 【都心居住及び商業・業務・余暇サービス複合ゾーン】 老朽建物の更新を進めながら、職住接近を支える住・商・業と、豊かな都市生活が楽しむことができるサービス機能が共存した市街地を目指す	○生活環境に配慮しながら駅至近地区に相應しい土地の有効利用を図り、都心居住・業務機能の集積、豊かな生活を支える店舗立地を実現する ○社会的変化に対応出来き、多様な生活者・事業者の施設ニーズにも応えられる環境を整え、持続的な活力維持と、地区内生活の魅力向上を図る ○土地の有効利用と合わせて、ゆとりと潤いを感じられる上質な都市空間を創出する	・地区に相應しい土地利用や建築物の形態制限の再考(用途地域等の都市計画の変更) ・歩行者のための空地・広場の確保や、接道部の緑化
交通 安全・快適で、歩いて楽しい回遊性のある交通環境づくりを目指す	○行人坂の安全な歩行環境を確保する ○権之助坂歩道の安全・快適性を高める ○目黒川へのアクセス性を高める東西方向の歩行者ルートを確認、創出する	・行人坂沿いの歩行者空間の拡充 ・自転車走行マナーの向上や放置自転車対策の徹底 ・現ルートの保全、建替えに合わせた新たなルートの創出
市街地環境 駅周辺の歴史・文化・自然・レクリエーション資源を活かし、ネットワーク化を図ることによる、魅力的な市街地環境づくりを目指す	○坂の街であることを踏まえた、親しみが持てる街並みを形成する ○行人坂沿道は、駅周辺に点在する多様な地域資源を結び、地区の魅力を発信する賑わい・交流軸を形成する ○地域の環境・レクリエーション軸である目黒川沿いの自然を活かした、魅力的な市街地環境を形成する	・見えるみどりの設置に関するルール化 ・行人坂沿道での文化・余暇サービス機能の立地や環境空間の誘導 ・目黒川沿いに対する顔づくりのルール化



商業・業務ゾーン

都市居住及び商業・業務・余暇サービス複合ゾーン

- ・特に生活環境に配慮した、土地の有効利用が必要なエリア

- ・東西方向の歩行者ルートの確保

- ・歩道の安全性・快適性を高める

- ・安全な歩行環境の確保

- ・賑わい・交流軸の形成

- ・親しみが持てる街並み形成(地区全体)

- ・自然を活かした魅力的な市街地環境の形成